

2026 年 4 月 20 日・5 月 28 日に 10 階西病棟・腎センターで腹膜透析と災害対策研修会 に参加した看護師の方へ

—「腹膜透析に関する看護師への災害教育の取り組みと災害に対する理解度の変化」へのご協力のお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学附属病院 10 階西病棟 看護師 立野 美幸
研究分担者 川崎医科大学附属病院 10 階西病棟 看護師長 西村 瑞穂
川崎医科大学附属病院 腎センター 看護師 柴田はづき

1. 研究の概要

腹膜透析 (Peritoneal Dialysis 以下、PD) は地域包括ケアシステムとしての在宅医療や地域連携の促進、加えて適切な腎代替療法の推進など国が進める方針に合致しています。近年診療報酬も増額傾向が続いています。今後、PD の増加が予測されており、看護師は専門的知識や技術の更なる向上が求められています。特に、災害時などの緊急事態が発生した場合、看護師の迅速な対応が必要とされています。

当院は 1997 年 1 月に災害拠点病院となり、施設全体で災害教育や訓練を積極的に実施している。南海トラフ地震など大規模災害も予測される中、自部署と腎センターにおいて PD に関する災害教育を実施しました。本研究では、PD に関する災害教育が、看護師の災害に対する理解度にどのような変化があるか調査し、今後の看護の一助とすることを目的とします。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2026 年 4 月 20 日・5 月 28 日に川崎医科大学附属病院 10 階西病棟と腎センターで腹膜透析と災害対策研修会に参加した看護師を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2026 年 12 月 31 日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に腹膜透析と災害対策研修会に参加した看護師で、研究者が研修会前後のアンケートをもとに、看護師の災害に対する知識習得の傾向について調査します。

4) 使用する情報の種類

情報：経験年数、看護師経験年数、腹膜透析に関連する部署での経験年数、腹膜透析に関する基礎知識、腹膜透析の災害に関する理解度等

5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から 5 年間、川崎医科大学附属病院 10 階西病棟の管理室の施錠可能な保管庫に保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

この研究は、あなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 10 階西病棟

氏名：立野 美幸

電話：086-462-1111 内線：10140（平日：8 時 30 分～17 時 00 分）

E-mail：kango-kenkyu.2026.02@hp.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究においての研究費用は研究責任者負担となります。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。